科目名						授業の種類		授業担当者	
子どもの健康と安全						演習		箕口ゆう子	
学年	単位	時間数	授業回数	履修	時期	選択·必修			
1	1	30	15	後	期	幼免:選択 保		保育士:必修	

[授業の目的・ねらい]

子どもの健康及び安全に係る保育環境の援助や、子どもの体調不良等に対する適切な対応、事故防止及び安全対策・危機管理等を 具体的に理解する。

[授業全体の内容と概要]

- 1. 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助
- 2. 保育における健康及び安全の管理(衛生管理・事故防止と安全対策・危機管理・災害への備え等) 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応(応急処置・救急蘇生法等)

- 4. 感染症対策(感染症ガイドライン・具体的対策) 5. 保育における保健的対応(3歳未満児・慢性疾患・アレルギー疾患・障害のある子ども等) 6. 健康及び安全の管理体制(組織的取り組み・保健計画・自治体、専門機関、家庭等との連携)

[受講上の注意事項]

〔使用テキスト〕

〔評価基準〕

- 新・基本保育シリーズ16 子どもの健康と安全
- (中央法規)
- ・子どもの健康と安全 2 集 松田博雄 金森三枝 ・子どもの看病手当のしかた 日本赤十字社
- 公益財団法人児童育成協会 編 筆記試験またはレポート

回	項目	授業内容
1	保健的観点を踏まえた保育環境及び援助	子どもの健康と保育環境及び援助・子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健 康及び安全の管理
2	保育における健康及び安全の管理	衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害への備え
3	保育における健康及び安全の管理	衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害への備え
4	保育における健康及び安全の管理	衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害への備え
5	子どもの体調不良等に対する適切な対応	体調不良や障害が発生した場合の対応・応急処置・救急処置及び救急蘇生法
6	子どもの体調不良等に対する適切な対応	体調不良や障害が発生した場合の対応・応急処置・救急処置及び救急蘇生法
7	子どもの体調不良等に対する適切な対応	体調不良や障害が発生した場合の対応・応急処置・救急処置及び救急蘇生法
8	子どもの体調不良等に対する適切な対応	体調不良や障害が発生した場合の対応・応急処置・救急処置及び救急蘇生法(日本赤十字社幼児安全法短期講習)
9	感染症対策	感染症集団発生の予防・感染症発生時と罹患後の対応
10	感染症対策	感染症集団発生の予防・感染症発生時と罹患後の対応
11	保育における保健的対応	保育における保健的対応の基本的な考え方・3歳未満児の対応・個別的な配慮を要する子どもへの対応・障害のある子どもへの対応
12	保育における保健的対応	保育における保健的対応の基本的な考え方・3歳未満児の対応・個別的な配慮を要する子どもへの対応・障害のある子どもへの対応
13	保育における保健的対応	保育における保健的対応の基本的な考え方・3歳未満児の対応・個別的な配慮を要する子どもへの対応・障害のある子どもへの対応
14	健康及び安全管理の実施体制	職員間の連携・協働と組織的取組・保育における保健活動の計画及び評価・母子 保健・地域保健における自治体との連携・家庭、専門機関、地域県連機関との連携

15	試験	
実務教員としての経歴 長		長野赤十字看護専門学校 専任教員17年
	験と授業の関連	長野赤十字看護専門学校にて主に小児看護学を担当 日本赤十字社幼児安全法指導員 日本赤十字社救急法指導員